

第3回 函館新外環状道路 環境検討懇談会

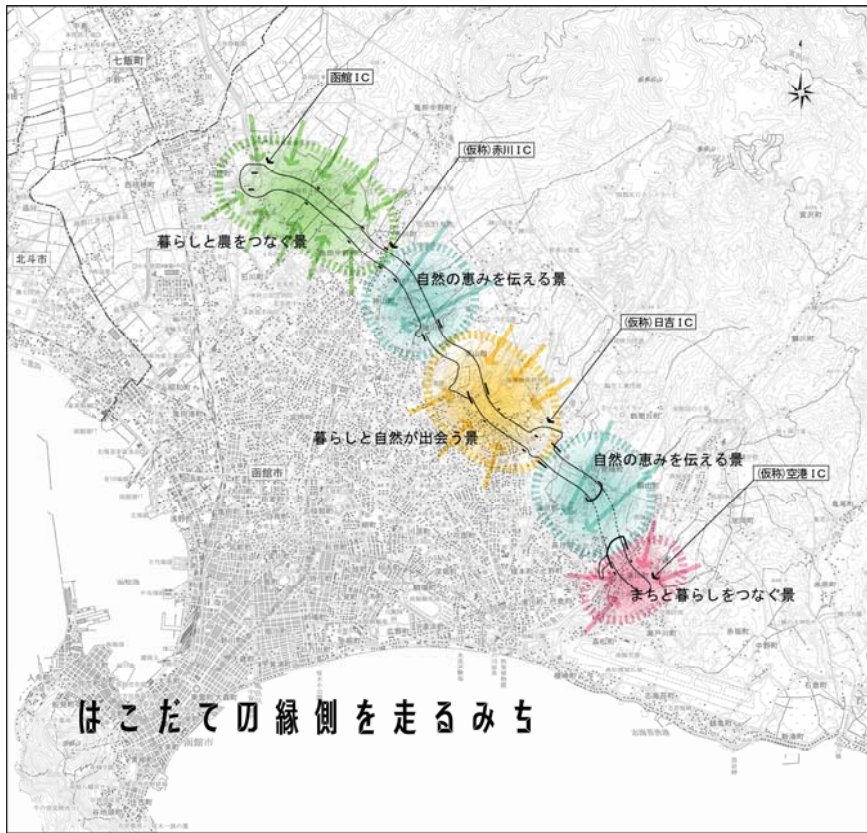
説明資料




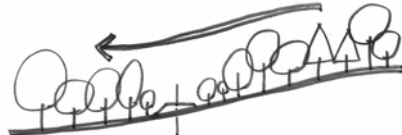

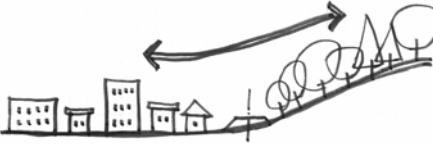


平成19年12月25日(火)

目次

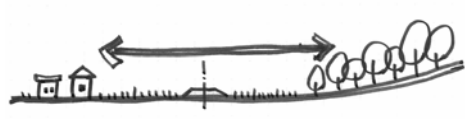
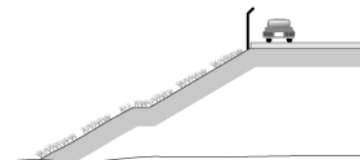

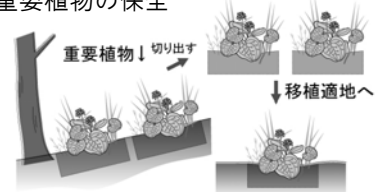

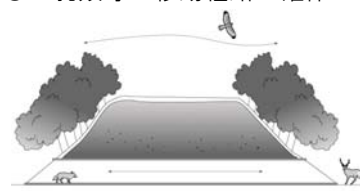
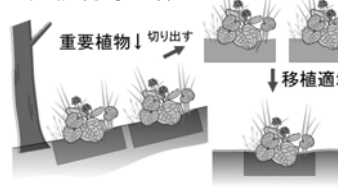
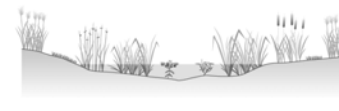
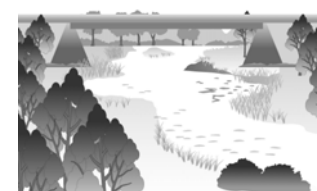

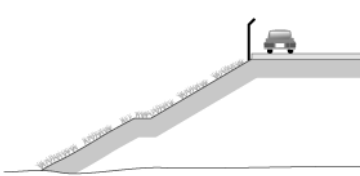
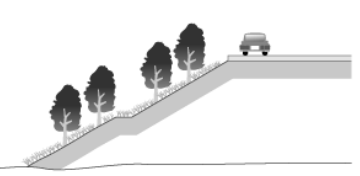
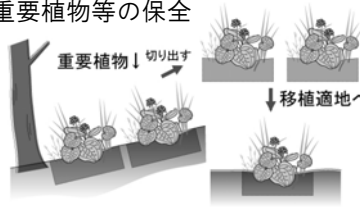
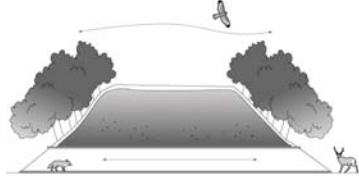

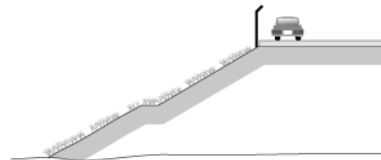

1. 環境整備内容	
(1) 環境ゾーニングと整備イメージ.....	1
(2) 整備イメージと整備内容.....	2
(3) 函館IC～赤川間の整備内容.....	3
2. その他.....	4
3. 今後のスケジュール.....	5

(1) 環境ゾーニングと整備イメージ


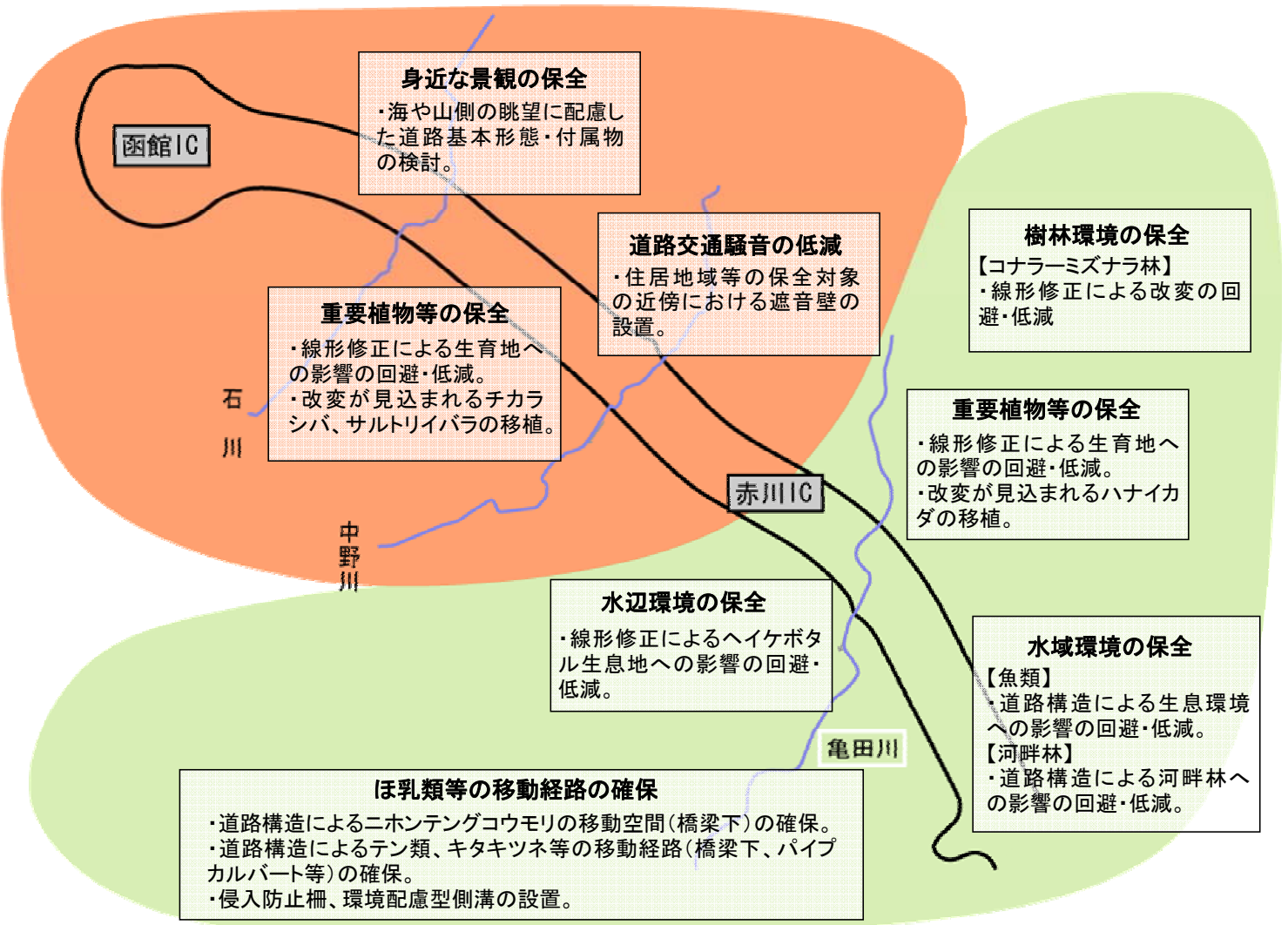



ゾーニング	環境整備方針	環境整備イメージ図
 暮らしと農をつなぐ景	計画路線を挟み、丘陵の裾野に広がる耕作地と平地から拡大する住居地域といった異なる環境・景観が隣り合ったゾーンである。 重要な植物やその生育環境となっているコナラ・ミズナラ林、中野川の河畔林に配慮しつつ、近接する住居地域の騒音環境を保全するため、沿道の土地利用状況や眺望及び身近な景観に配慮した自然環境及び騒音対策を検討し、異なる環境と景観の調和を図る。	
 自然の恵みを伝える景	計画路線は、市街地近郊に残存する自然を通過することから、その恵みを残し・伝えていくためのゾーンである。 亀田川や松倉川の魚類の生息環境や河畔林の連続性、テン類等の移動経路や重要な植物の生育環境となっているコナラ・ミズナラ林を保全するため、動植物種の生息・生育環境の保全対策や河川の連続性と生態系に配慮した緑化を検討し、自然環境と景観の連続性を保全・創出する。	
 暮らしと自然が出会う景	計画路線を挟み、残存する自然と平地から拡大する市街地といった異なる環境・景観が隣り合ったゾーンである。 テン類等の移動経路や重要な植物の生育環境となっているコナラ・ミズナラ林の保全に配慮しつつ、近接する住居地域の生活環境を保全するため、動植物種の生息・生育環境の保全対策や生態系に配慮した緑化、眺望及び身近な景観に配慮した生活環境対策を検討し、異なる環境と景観の調和を図る。	
 まちと暮らしをつなぐ景	都心部から拡大した市街地及び居住地が計画路線の北側へと抜けており、賑わいと安らぎが段階的に続くゾーンである。 植物の生育環境となっているコナラ・ミズナラ林の保全に配慮しつつ、近接する住居地域の生活環境を保全するため、眺望及び身近な景観に配慮した自然環境及び騒音対策を検討し、快適性を保全・創出する。	

(2) 整備イメージと整備内容

環境整備イメージ	主な環境整備内容			
<p>暮らしと農をつなぐ景</p> 	<p>●道路交通騒音の低減</p> 	<p>●身近な景観の保全</p> 	<p>●重要植物の保全</p> 	
<p>自然の恵みを伝える景</p> 	<p>●ほ乳類等の移動経路の確保</p> 	<p>●重要植物等の保全</p> 	<p>●水辺環境の保全</p> 	<p>●水域環境の保全</p> 
<p>暮らしと自然が出会う景</p> 	<p>●道路交通騒音の低減</p> 	<p>●身近な景観の保全</p> 	<p>●重要植物等の保全</p> 	<p>●ほ乳類等の移動経路の確保</p> 
<p>まちと暮らしをつなぐ景</p> 	<p>●道路交通騒音の低減</p> 		<p>●身近な景観の保全</p> 	

(3) 函館IC～赤川間の整備内容

環境整備イメージ	環境整備内容
<p>【函館IC～赤川IC】 暮らしと農をつなぐ景</p> 	 <p>身近な景観の保全 ・海や山側の眺望に配慮した道路基本形態・付属物の検討。</p> <p>重要植物等の保全 ・線形修正による生育地への影響の回避・低減。 ・変化が見込まれるチカラシバ、サルトリイバラの移植。</p> <p>道路交通騒音の低減 ・住居地域等の保全対象の近傍における遮音壁の設置。</p> <p>樹林環境の保全 【コナラミズナラ林】 ・線形修正による変更の回避・低減</p>
<p>【赤川IC～亀田川】 自然の恵みを伝える景</p> 	<p>重要植物等の保全 ・線形修正による生育地への影響の回避・低減。 ・変化が見込まれるハナイカダの移植。</p> <p>水辺環境の保全 ・線形修正によるヘイケボタル生息地への影響の回避・低減。</p> <p>水域環境の保全 【魚類】 ・道路構造による生息環境への影響の回避・低減。 【河畔林】 ・道路構造による河畔林への影響の回避・低減。</p> <p>ほ乳類等の移動経路の確保 ・道路構造によるニホンテングコウモリの移動空間(橋梁下)の確保。 ・道路構造によるテン類、キタキツネ等の移動経路(橋梁下、パイプカルバート等)の確保。 ・侵入防止柵、環境配慮型側溝の設置。</p>

3. 今後のスケジュール

- 今後のWGは、環境現況調査、設計の進捗に応じて、該当する専門分野ごとに検討を進め、来年2月の第3回WGで追加情報を含めた検討を行い、3月の第4回懇談会において環境現況調査結果及び環境配慮案の報告・確認を行う予定です。

【まちづくりWG】

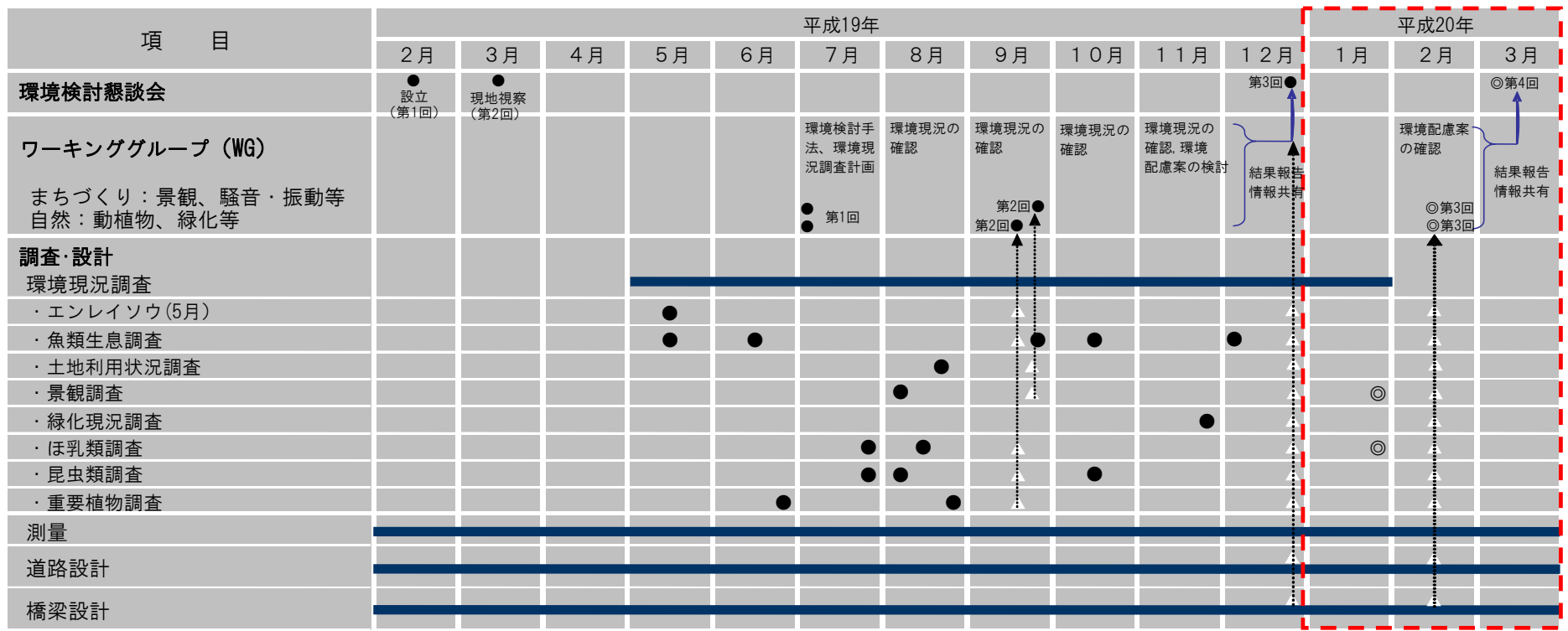
項目	第3回 (H20.2予定)
土地利用状況	・環境配慮案
景観	・環境配慮案

注) 現況調査及び設計の進捗により、内容が変更する場合があります。

【自然WG】

項目	第3回 (H20.2予定)
ほ乳類	・環境配慮案
昆虫類	・環境配慮案
魚類	・環境配慮案
重要植物	・環境配慮案
緑化現況	・環境配慮案 ・緑化方針案

注) 現況調査及び設計の進捗により、内容が変更する場合があります。



注) ●: 調査、懇談会・WGの実施。◎: 調査、懇談会・WGの当面の予定。△: 調査結果 (速報含む)、設計成果の反映。